

大阪府立

東大阪

支援学校

タイトル(テーマ)

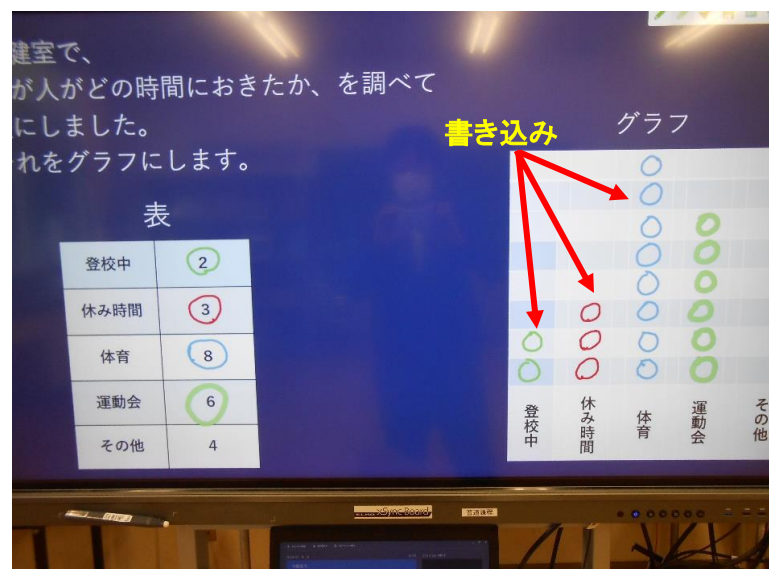
電子黒板を用いた授業

東大阪 No. 18 号

令和

4 年 3 月 1 日

取組の内容・授業の様子(高等部 普通課程)



目的

これまで、事前にpowerpointで作成したファイルをテレビ画面に映しながら授業を進めていたが、画面上に書き込むことができず、事前に作成したものしか視覚に入れることができなかった。そこで説明+αの視覚効果、生徒の参加意欲の促進を試みるため、大型テレビに代えて電子黒板を使用した。

授業の様子

ドットグラフを作成する授業で、取り組んだ。

事前に作成していたpowerpointを電子黒板に投影して授業を始めた。授業の中で、生徒の意見を聞いて作業の順番(どの項目から先にグラフを作るか)を決めた。授業の中で書き込みながら説明し、発表できる生徒については、発表の場面としても書き込みを使用した。発表した生徒は「色を変えたいはどうしたらいい？」など教員に質問しながら電子黒板に書き込み、楽しそうに声に出して数えながら書き込んだ。

成果と今後の課題

書き込み機能を使用することにより、授業の中で順番を変更することが可能となり生徒の意見を聞いて進めることができた。また、生徒の授業参加意欲を活用することができ、生徒がより授業に集中できた。まずは電子黒板単体で電子黒板にUSBメモリをさしてpowerpointファイルを作成したが、電子黒板のメモリ性能のせいタッチ反応のレスポンスがやや長かったためにPC接続による方法に変更した。今後の課題として、生徒による書き込む機会を増やすために昇降式のスタンドを使用すれば、車椅子を使用する生徒の参加機会が増加すると思われる。